

令和5年9月1日

関係医療機関 各位

群馬大学医学部附属病院

放射線部長 対馬 義人

技師長 須藤 高行

甲状腺癌内用療法の受け入れ再開と入院治療の状況について

平素より、本院の業務にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

ヨウ化ナトリウムカプセルの供給制限に伴って、甲状腺癌の内用療法受け入れを一時停止しておりましたが、カプセル供給が安定しましたので、9月より紹介患者様の受け入れを再開させていただきます。

しかしながら、長期間待機して頂いていた院内症例が多数あり、病棟が大変混雑しております。年内の入院治療枠は既に満床に近い状況であり、今後しばらくは新規患者様の入院治療は半年～1年程度の待ちとなる状況が続くと思われますので、ご了解の上で紹介頂ければ幸いです。限られた専用病室を使用するという特性上、放射線内用療法の治療数には限りがあるものであり、ご理解の程何卒よろしくお願い致します。緊急で治療が必要な症例につきましては対応策を検討させていただきますので、個別にご相談頂ければ幸いです。

あまりに入院治療の待機が長くなりそうな場合は、外来アブレーション治療を先行して行い、その後、入院治療を検討するといったことをご提案することもあるかと思いますが、事情をご賢察頂ければ幸いです。また国内の治療可能な施設一覧も以下のとおり公開されていますので、当院以外にご紹介可能な施設があれば治療時期を比較頂ければと思います。

(施設一覧：<https://oncology.jsnm.org/iodine/list/thyroid>)

なお外来アブレーション及びバセドウ病のアイソトープ治療に関しては制限ありませんので、ご紹介後、速やかに治療は可能と思われれます。

患者様、関係する皆様には重ね重ねご迷惑をお掛けして誠に申し訳ありません。ご不明な点につきましては、当院までご連絡ください。

～：～：～：～：～：～：～：～：～：～

群馬大学昭和地区事務部医事課福祉・連携係

戸嶋

電話：027-220-7854

Mail:[kk-miryol4@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:kk-miryol4@jimu.gunma-u.ac.jp) (係宛)

～：～：～：～：～：～：～：～：～：～